

令和7年度 とも園関係者評価書

堺市立園園とも園

教育・保育理念 ・自分も友だちも大切にできる心の育成・学びの芽の育成・自分の可能性や能力の発揮		令和7年度重点目標 ・主体的に生きる力を育てる。 ・家庭と連携し、基本的生活習慣を整える。 ・保幼小が連携し、子どもの健やかな育ちと学びをつなげていく。 ・地域と連携した園の運営を行い、地域の子育て家庭の支援を行う。 ・職員の資質向上を目指す。	
園の重点項目 ・保護者とともに、一人一人のこどもの人権を尊重し、こどもが主体となり夢中になって遊ぶことを大切に教育・保育を行います。			

評価の基準 A・・・達成している B・・・おおむね達成している C・・・取り組みが不十分である
--

重点目標	重点目標に向けた具体策	評価項目	自己評価	とも園関係者評価
主体的に生きる力を育てる	人権を尊重したかかわりの中で自己肯定感を育て、興味関心のある遊びに夢中になり主体的に遊ぶ	・保育教諭とのかかわりを通して愛着関係を育み、意欲的に生きていく力につなげる。	A	主体的に生きる力を育てるためには自己肯定感が基盤となる。そのためにはまずは安心できる大人との関係性を構築し、認め合える集団での居場所があって、向上していくと感じている。安心して自己を発揮できる中でこそ、主体的なこどもの姿が見られることを鑑みると、人権尊重を基本とした取り組みがしっかりされており、園児の思いに寄り添った保育を展開されている。こども達一人一人が主体性をもって遊んでいる様子がとてもわかりやすかった。マイ人形の取り組みもすぐよかった。
		・こどもの発達過程に応じ、個人差に配慮しながら思いをうけとめ、自尊感情を育てる。	A	
		『みんなちがってみんないい。』と互いのことを認め合い、共に育ちあうクスづくりを行う。	A	
		・家庭と連携し、とも園がこどもにとって安心できる居場所となるように努める。	A	
		・集団生活においてルールを守ったり、自分の気持ちや感情をコントロールする力を育てていく。	B	
家庭と連携し、基本的生活習慣を整える	こどもの姿から規則正しい生活リズムの大切さを保護者に根気よく伝え、連携しながら基本的生活習慣が身につくようにする。	・こどもの興味・関心に気づき、こどもが夢中になり主体的に遊ぶ環境を整える。	A	
		・こどもの意欲や探求心などを引き出す保育教諭の関わりを大切にすること。	A	
		・体験を通して『みたい』『知りたい』『やってみよう』『なんでかな』と感じ主体的に遊ぶ。	A	
		・一人一人の家庭状況を把握し、こどもが安定して心地よく過ごせるようにする。	A	
		・家庭環境や保護者のニーズを理解し、ともに子育てしていく視点をもち信頼関係を築いていく。	A	
保幼小が連携し、子どもの健やかな育ちと学びをつなげていく	幼小と交流をもち、それぞれの立場からの教育方針等を交流することで、こども達の健やかな育ちにつなげていく	・園での教育・保育を保護者へ可視化し、園で毎日の生活や活動、遊びが就学に向かう力となることを共有する。	B	
		・保護者へ基本的生活習慣の大切さを伝える機会を作り共に考える姿勢で保護者に寄り添っている。	A	
		・生活習慣・生活リズムについては、園児には年齢に応じた保健・食育指導で大切さを伝えることで興味をもって取り組めるようにしたり、保護者には育児講座で園園小学校長より就学に向けての話や、0・1歳児クラス懇談ですまし汁の試食と出汁の話や伝えたり、幼児は「早起き・早寝・朝ごはんカレンダー」の取り組みで楽しみながら保護者と一緒に生活リズムを考える機会を持つ等してきた。毎日の生活や活動の流れを一定し、園児の様子に合わせて必要な援助を丁寧にして自分でできた経験や積み重ねることや、幼児はカレンダーや毎日の振り返りの会で次の日の活動を知らせ、活動を楽しみに登園できるようにしてきたことで、生活習慣・生活リズムを身に着け、意欲をもって身の回りのことや活動に取り組む力が育まれてきている。日々の活動記録の配信、フォトニュース、園だより、クラスだより等園の教育・保育内容やねらい、園児の様子やつぶやきを可視化し伝えてきた。また、送迎時、個人懇談、クラス懇談等の機会に、保護者の思いや家庭でのこどもの様子、悩みを聞いたり、園でのこどもの様子や成長したところ、課題等を共有し、それぞれの家庭の状況をつかみ、思いに寄り添いながらともに子育てを考えた。	A	
		・宮園小学校との交流では、5歳児が3・2・1年生との交流、2～4歳児が5、6年生の保育体験で交流しやさしくかわってもらう体験をしたことは園児の豊かな育ちに繋がっている。職員は、幼保小合同研修等で学校と意見交流を行い、また、宮園小学校の授業見学をさせていただいたことで、授業内容に触れ、こどもの意見を引き出す授業の進め方、生き生きと授業に参加する様子を見て、就学まで育てたい力をより意識して教育・保育を考えることができた。5歳児公開保育に小学校の先生にも参加していただき、意見をいただくことができた。次年度はさらに教育・保育内容の交流を深めたい。各種研修で学んだことを日々の教育・保育に積極的に取り入れるようにし、現在の園児の姿とこれからの育ち、学びにつながるよう考えて指導計画を立案し実施した。就学に向けては園児指導要録等を通して、育ちを繋げている。	B	
		・乳幼児期に育てたい力が小学校以降の学びにつながるような指導計画を作成し実践する。	B	
地域に根差した(子育て拠点)とも園をめざす	園庭開放やほっと預かり、リフレッシュ預かりに来られた方や地域に出向いた時に、とも園で取り組んでいる子育て支援事業をPRしたり、積極的に声をかけ、子育ての相談にのっている。	・地域の関係機関や団体等と連携し、協力を図り、適切な子育て支援をおこなう。	B	
		・地域の方へ情報提供を行い、共に子育てを進めていく。	B	
		・園の機能や職員の専門性を活かした子育て支援を行う。	B	
		・地域子育て支援事業を通して保護者の育児に対する負担感の軽減を図り共にこどもの成長を喜び合う。	B	
		・園児はお話し会、地域活動事業時の交流、散歩先でのご挨拶等の出会いを通して、地域の方々と交流を楽しめたこと、CAP講座や命の授業で地域の方から大切なことを教えてもらった経験は、園児の豊かな育ちに繋がっている。園内では園庭開放、ほっと預かり、リフレッシュ預かり、育児相談等の地域活動事業を実施し、昨年度より利用者が増えているがまだ人数としては少ないので内容を工夫していきたい。また、必要に応じて、関係機関や利用できる制度を紹介する等、関係機関と連携して子育て支援を行った。園主催の子育て支援事業の他、職員が地域の子育てサロン、中区役所主催の子育て支援事業に出向き、入園にむけての話や育児相談、保育の提供等を行う専門性を活かした取り組みをすすめている。公立園として公民区別研修、教育・保育施設交流会を企画し、関係機関や民間園と互いの教育・保育力を高めあえるような意見交流を行うことができた。	B	
職員の資質向上をめざす	研修や会議、委員会、自己評価、情報交流等で専門性を高める。	・研修等を通じ専門性や倫理性の向上に努める。	A	
		・職員同士の交流や情報交換を円滑に行い、こどもの学びと育ちをつなげていく。	A	
		・理念や方針、教育・保育課程や指導計画について、職員同士が共通理解する。	A	
		・教育・保育実践を振り返り、自己評価を通して質の向上を図っていく。	A	
		園内研修では園庭の自然環境や室内環境等を検討し、環境づくりを実践した。理念や方針、教育・保育課程、マニュアル等年度初めに確認したうえで、園児の姿や教育・保育のねらい、内容、手立て、大切にしたいことなど毎月の会議で共通理解し、教育・保育を振り返り、より良い方法を考えて教育・保育を進めた。園内研修では園庭の自然環境や室内環境についてグループで検討をすすめて、よりよい環境づくりを実践した。その他、園児への関わりについて事例を基にグループ討議、経験年数別研修での語り合い、ハラスメント防止研修、不適切保育防止研修等の園内研修、園外の各種研修に参加して学ぶことで園児の専門性を高めるとともに、学びを日々の教育・保育に活かすことができた。また、各種訓練(消防・避難訓練、心臓蘇生、不審者対応、事故防止)やヒヤリハットの検討等を定期的の実施し、緊急時の対応や安全な保育の実施にむけて全職員で取り組めた。	A	

今後の取り組みべき課題

課題	具体的な取組方法	園長より
生活リズムを整え、1人1人が期待をもって登園し、主体的に生活や遊びに取り組む	・生活習慣・リズムについて保護者とともに伝えような活動を行っていく。こどもが期待をもって登園できる取り組みを行っていくと同時に、次の日の活動内容を知らせたり、取り組み内容をフォトニュースや活動記録等で発信したりし、親子で園での活動を楽しみにできるようにする。育児講座、懇談の場やお便り等を通して生活習慣の大切さについて具体的に発信する。	宮園とも園では、一人一人の人権を尊重し、こどもが主体となり夢中遊ぶことを重点として教育・保育を進めています。大人との信頼関係を基盤に友だちへと関係を広げ、お互いを認め合う関係づくりに取り組み、自己肯定感をしっかりと育てる心の育ちを大切にしてきました。生活リズム・習慣の確立にむけた取り組みやお互いの思いを伝えあい考えあう取り組みを実施し、また園庭や保育室の環境を整え、遊びこめる環境づくりやわくわくする活動をこども達と一緒に考えて取り組んでいく中で、主体的に活動する力が育ってきています。次年度は保護者のみなさまとともに生活リズムを考えていけるような取り組み、活動内容の伝え方を工夫し親子で活動を楽しみにして登園できるよう取り組みを実施していきたいと考えています。保護者のみなさま、地域のみなさまのお力をお借りしながら、こども達の育ちがより豊かとなるように、次年度も職員一丸となって取り組んでいきたいと思っています。保護者の皆さまには、今年度も園の運営にご理解とご協力をいただきありがとうございます。
小学校と連携し、こどもの育ちをつなげる	・園児・児童交流を計画的に行い、交流する。 ・授業見学・公開保育、意見交流を実施し、互いの教育活動についての理解を深め園の教育・保育に活かす ・乳幼児期に育てたい力が小学校以降の学びにつながることを意識し指導計画を作成し実践する。	